

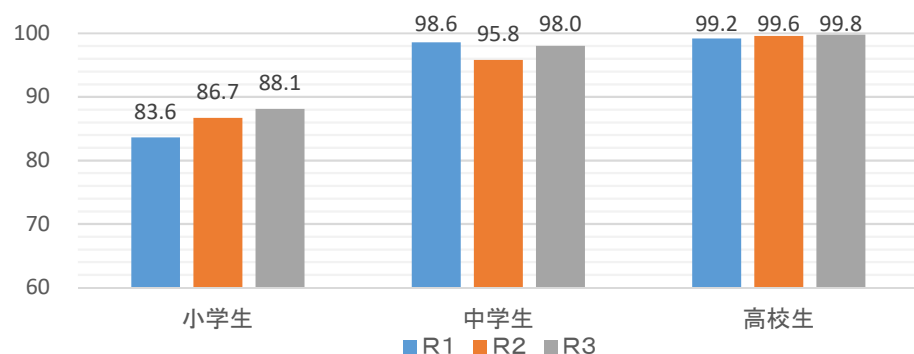
令和3年度青少年のネット利用実態調査結果(概要)

1 調査の概要

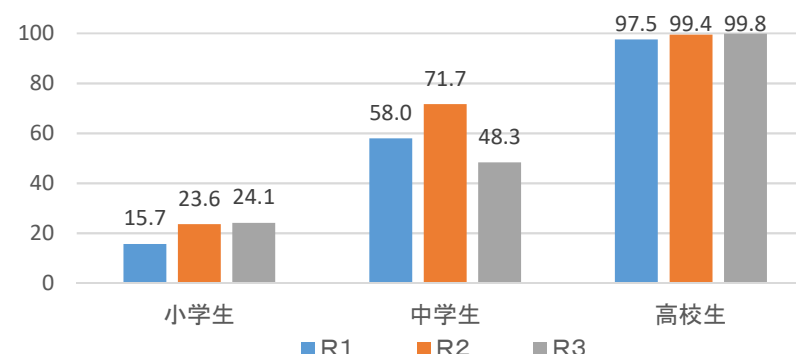
調査対象：県内の小学校、中学校、高等学校の児童生徒約1,500人とその保護者、計約3,000人
調査方法：対象者に合わせて、質問項目や内容、表現を調整して調査票(小学生・中高校生・保護者の3種類)を作成し、紙面による調査を行った。
調査時期：令和3年10月
調査内容：①インターネットを利用する機器、内容、環境 ②インターネット利用による生活の変化 ③インターネット利用時のトラブル等と相談
④フィルタリングの利用状況と家庭のルール ⑤保護者自身のインターネット利用に関すること

2 インターネット利用の低年齢化

【青少年のインターネット利用率(子ども回答)】



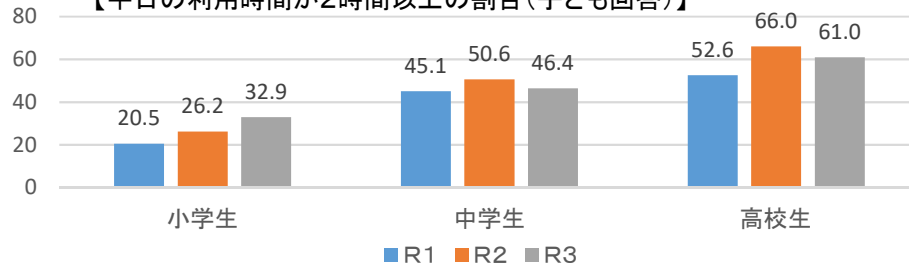
【スマートフォン(自分専用)の所持率(子ども回答)】



- ・小学生の88%、中学生の98%、高校生のほぼ全員がインターネットを利用し、全世代でネット利用率が増加している
- ・小学生は、インターネット利用率が年々増加しており、ネット利用の低年齢化が進んでいる。
- ・自分専用のスマートフォン所持率は中学生で減少が見られる。高校生は、ほぼ全員が所持している。

3 インターネット利用の長時間化

【平日の利用時間が2時間以上の割合(子ども回答)】



- ・前年度と比較して、平日の利用時間が2時間以上の割合は、中学生と高校生が減少している。
- ・そのような中で小学生は6ポイント以上増加している。

4 自画撮り被害の状況

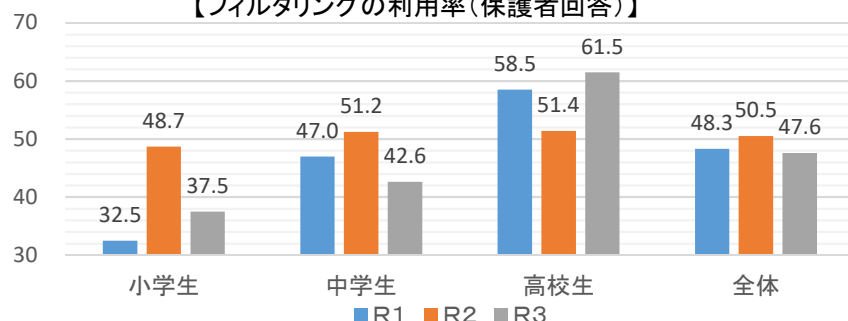
【裸や下着のやりとりの経験(子ども回答)】

	中学生	高校生	計
送ったことがある	0人	0人	0人
写真を要求されたことはあるが送っていない	11人	15人	26人

- ・「これまでに自分の裸や下着姿の写真を他人に送ったことがあるか」との問いに、今年度は0人であった。(R2年度:中学生3人、高校生6人)(子ども回答)
- ・「写真を要求されたことはあるが送っていない」と回答したのは、中学生11人、高校生15人(R2年度:中学生9名、高校生28名。)(子ども回答)
- ・保護者の回答によると、自分の裸や下着姿の写真を他人に送ったことのある小学生4人、中学生が4人、高校生が1人いる。

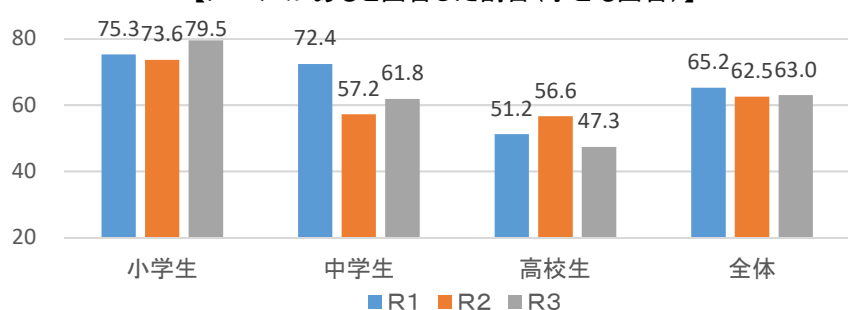
5 フィルタリングの利用状況及び家庭のルールの有無

【フィルタリングの利用率(保護者回答)】

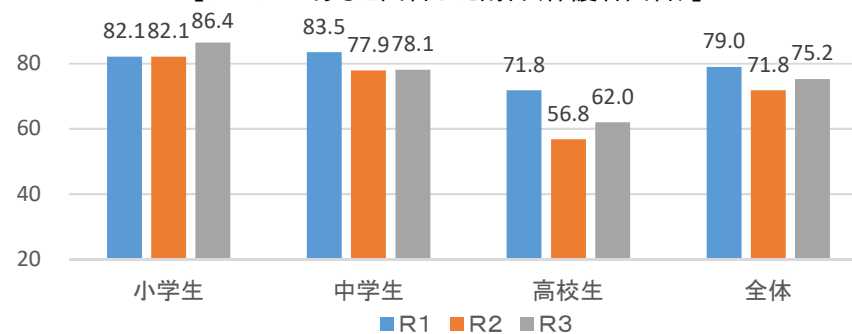


- ・フィルタリングの利用率は、小学生と中学生が10ポイント前後減少し、高校生が10ポイント増加している。
- ・家庭のルールの有無について、小学生と中学生は増加しているが、高校生は減少している。
- ・家庭のルールの有無について、子どもと保護者に認識の差がある。保護者の方がルールがあると回答した割合が高い。

【ルールがあると回答した割合(子ども回答)】



【ルールがあると回答した割合(保護者回答)】



6 調査結果を受けて

- ・インターネット利用の低年齢化が進み、低年齢の子どもたちにネット利用の長時間化が見受けられます。
- ・保護者の方は、子どもたちが違法・有害な情報に触れる機会をなくすため、子どもたちの成長や利用状況に応じたペアレンタルコントロールをしましょう。
- ・また、スマホの使い方についても、保護者と子どもたちが話し合い、「家庭のルール」をつくりましょう。

大分県のHPに、安全安心にスマホやネットを使うための情報を掲載していますので、一度ご確認ください ⇒

